



やさしい K-ART

2025年5月のテーマ (3原色アートワーク)

初回は導入として、キットパスという画材で混色とフレーミングの技法を使ったアート作品を作ります。

1. 新聞紙
2. キャンバスボード
3. マスキングテープ
4. キットパス (赤、青、黄、白)
5. ベビーパウダー (粉、ハフ)
6. 鉛筆
7. 持ち帰り用PP袋

<テーマを決める>

日常の生活の中であふれている色に興味を持って考える機会にしました。

<問いを考える>

「(作品イメージを見せて) この作品には何色使われているか?」

「色ってどうやって作られているか?」

「好きな色は何?」

「好きな色を自分で作れるかな?」

「この色は何と何を混ぜたの?」

3原色+白でいろいろな色を作ることができるという『混色』を学び、子どもたちが自由に塗る中で偶然にできた色について考えてみました。

「キットパスを折って使うのはなぜ?」

クレヨンを使っていると鉛筆持ちできれいに使うことが多いですが、折ったらダメ、手を汚したらダメと言われるのに、なぜアートの時は折るのか?という理由を考えてもらい、意味をしっかりと伝えます。また、鉛筆持ち、側面を使う、指でのばす・・・など、色の混ざり方や感触の違いを手で感じ取ってもらいました。

<環境をデザインする>

「まっすぐな線を引くにはどうしたらいい?」

完成前で実感することですが、まっすぐな線を手で書くということとはとても難しいことです。今回はマスキングテープを使い、まっすぐな線を描きます。「画面分割」という難しい言葉もあえて使って覚えてもらおうことで、達成感を向上させます。

「キットパスという画材は何で作られているでしょうか?」

お米から作られた水溶性固形マーカーやマスキングテープ、キャンパスなどの画材や道具の説明し、子どもたちが日常であまり使わない材料・道具を使いました。

また、クレヨンのように鉛筆持ちするだけでなく、キットパスを折って側面を使って広く塗るなど、こうしなければならぬという「たがを外す」ことで子どもたちの興味を持たせました。





< 探究活動を実践し、記録する >

5/14

(4 歳児) 講師からの質問に対して、活発に意見が出ていました。また、色ぬりは最初は筆圧も弱くえんぴつ持ちで塗っている子が多かったのですが、指で色をのばすようになってから筆圧も強くなりしっかりと塗れるようになりました。

(5 歳児)

最初からガンガン塗り込んでいる子、部屋をひとつしかりと塗り込む子、スピードとこだわりは違えど、だんだんと乗ってきて、よく集中して塗り込んでくれました。混色に興味を持って、「赤と黄を混ぜてオレンジ色を作ったよ」と教えてくれたり、「◎◎ちゃん水色の作り方を教えて〜!」「青に白を混ぜるんだよ」と言ったコミュニケーションが生まれていました。

だんだんと緊張も解けてくると、子どもたちの笑顔で楽しんでいる様子でした。来週の完成が楽しみです。



<探究活動を実践し、記録する> 5/20

(4歳児) 無事に完成して良かったです。今回は少し塗った後、ベビーパウダーで色止めをして、マスキングテープをはがした後に、遠くから見えて天地(飾るときの上下)を決めてサインをして完成となりました。最後にキットパスで一生懸命塗って、またテンションが上がったところで、魔法の粉(ベビーパウダー)が出てきて、手のひらで磨きながら「(手が)骨みたい」「いい匂い!」「色が見えてきた!」と、みんなワクワクしている様子が見られました。そしてマスキングテープをはがすところで一気にテンションも上がって、全部はがし終える頃にはみんな自分の作品にちょっと誇らしげな顔をしていて見ていてうれしかったです。

(5歳児)

同じように、魔法の粉からマスキングテープをはがして作品になるところで「楽しい〜」「すごい!」「すごい!」という声があがったり、黙々とテープをはがしたり。超集中していたと思います。完成後は、「もう終わってしまっただ・・・」と残念そうな声もあり、楽しんでくれて良かったなと思います。また、天地を決める時は各テーブルごとに先生から絵の感想を伝えながら、天地を決めてもらいましたが、元々のイメージから変わった子、自分の作品の中に桜や神社を見出した子など、とても素敵な作品が完成したと思います。お迎えに来た時の保護者の方の反応が楽しみです。

K-ART < 5月 > 3原色アート> 実施報告 アンジェリカ亀戸保育園

